

おはよう戸田

～ずっと住みたい町をつくりまします～



酒井いくろう活動報告

(2012年4月号)

戸田市議会議員

酒井いくろう

税金のムダづかい一掃

橋下徹・大阪市長の動きが注目を集めています。その手法には賛否両論ありますが、行政を効率化し、ムダを削減することについては、誰でも賛同できるのではないのでしょうか？

戸田市は「財政が良い」と言われていますが、決して樂觀できません。戸田市には500億円近い借金(市債残高)があります。また、今後の戸田市は全国の自治体の中で10番目という、非常に急激な高齢化の時代に入ります。高齢者の福祉予算は急拡大し、市財政を圧迫するでしょう。高度成長期に集中的に建設した公共施設のメンテナンスにも莫大な費用がかかります。現在のムダ使いを放置したまま、これらの巨額な費用をまかなうことはできるのでしょうか？私はそうは思いません。今のうちに早急に手を打たなくてはなりません。

サカイは「私たちの払った税金を1円でも無駄に使ってほしくない」という素朴な思いから、「税金のムダづかい一掃」を重点政策としています。今号では、私がこれまでに取り組んだ事例を紹介します。

①「地域包括支援センターの民間委託」

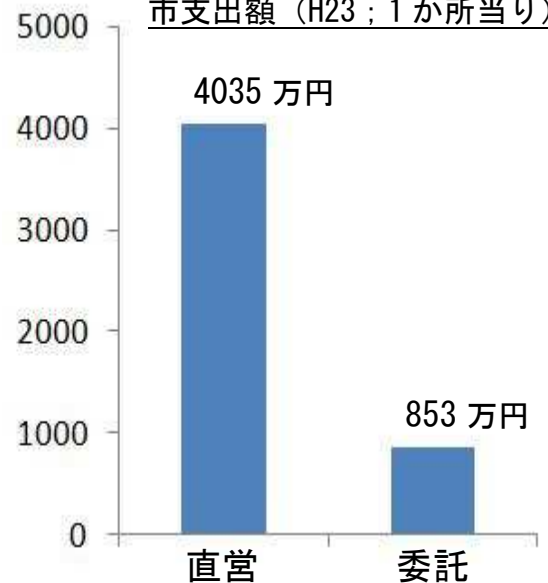
全国に「地域包括支援センター」という機関があります。高齢者の見守りや、介護予防、介護サービスにつなぐ仕組みづくりなどを担う、非常に大切な機関です。現在、市内には3か所の「地域包括支援センター」がありますが、今後の高齢化に合わせてさらに2か所程度の増設(合計5か所)が必要になるとされています。

さて、現在ある3か所のうち、1か所は市直営、2か所は民間の委託先による運営となっていますが、1か所あたりの運営予算を比べると、約4.7倍という大きな開きがあります(右図参照)。

サカイは、2011年6月の議会において「民間委託によるコスト削減」の検討を提案し、市当局から「次期の市計画策定(平成24年4月)に合わせて検討したい」との答弁を得ました。その後も市当局に策定状況を確認していましたが、残念ながら次期計画に「何らかの検討をする」旨の記載はされませんでした。

「安ければ良い」とは思いませんが、民間委託のやり方によっては数千万円単位の支出を削減できる話です。浮いた予算でセンターの増強・増設を行い、市民に還元することもできます。一度真剣に検討し、あえて数千万円の費用を余分に負担して直営を続けるのであれば、明快な理由を示すべきであると考えます。

地域包括支援センターへの
市支出額 (H23 ; 1か所当り)



②戸田市の埋蔵金

戸田市にはいくつもの外郭団体(市が出資する団体)があり、それぞれが基本財産(市の出資金を原資とした現預金)を持っています。その金額にはばらつきがありますが、一部の団体では数億円ものお金が全く活用されずに眠っている、つまり「埋蔵金」化しています。余分な財産があるなら、市が抱える借金の返済に回すべきであるのは、言うまでもありません。(裏面へ続く)

【自己紹介】酒井郁郎(さかい いくろう) ●1975年3月生まれの37才 ●東京大学医学部卒業、同大学院修了(医療政策) ●2000年: マッキンゼー入社(コンサルタント) ●2003年: ㈱ポピンズ入社(保育) ●2004年～: ㈱エジュカルサポートを経営(医学教育) ●政党: 無所属 ●2005年: 市議選に立候補(落選) ●2009年: 再度、市議選に立候補(当選) ●政党: 無所属 ●趣味: 総合格闘技(5年) ●現在の重点政策: ①税金のムダづかい一掃 ②子育てしやすい環境づくり&児童の学力向上 ③年をとっても障害があっても普通に生活できる町づくり

【表面「②戸田市の埋蔵金」のつづき】 サカイは 2011 年度、それらの外郭団体の1つである「戸田市国際交流協会」の評議員として、評議員会における質疑応答を通して下記の事項を確認しました。

【協会側の答弁から分かったこと】

- ①協会の基本財産 2.1 億円は、その運用益を協会の運営費に充てる、という以外の用途は現在も今後も無い。
- ②基本財産は法律上、300 万円以上とすることが規定されているが、それ以上は必要ない。
- ③協会の運営費は、大部分が市からの補助金(4千万強)である。つまり基金を市に返上しても運営上支障は無い。

そして、最終的には「基本財産の返上についても、市当局と協議し検討したい」旨の答弁がありました。今後は、これからどのような検討がなされるのか、息の長い確認作業をしていくことになります。

③無意味な審議会・協議会の開催

審議会(または協議会)は、市民や団体代表、有識者などで構成される機関で、戸田市の政策決定や事業の実施過程において市民の意見や、有識者の専門的見解を反映することを目的としています。戸田市には少なくとも50以上もの審議会やそれに類する機関がありますが、その全てが本来の目的を果たしているとは言い難いのが現状です。

例えば、サカイが出席したある協議会の話です。開催は年1回、内容は講演会のみ。協議らしいものは無く、講師との質疑応答程度でした。このように、なんの議題もない審議会がいくつも開催され、委員報酬を初めとした開催費用が無駄に費やされているのが現状です。審議会等をただ維持するためだけに、年一回くらいは開催しなくてはならないという考えは、民間の納税者としては受け入れがたい感覚です。

サカイは、2012年3月議会において「目的を果たしていない審議会は統廃合を行うべきである」という提案を行い、市当局から「廃止や見直しも見据え、運営の統一基準等、指針を定めて対応したい」との答弁がありました。今後、対応を確認していきます。

④情報サービス購入契約の打ち切り

サカイの提案が、大幅なコスト削減に結びついた例もあります。

戸田市は色々な団体に会費を払っていますが、中には必要性の疑われるものもあります。その一つがある団体に支払っている情報サービス料金でした。年間100万円以上を毎年払っていますが、少なくともここ数年は情報が役に立った例は無いとのこと。

私はもともと、地方自治の専門誌でこの情報サービスがあまり役に立ちそうもないことを知っており、委員会質疑の中で取り上げたのですが、それをきっかけとして市当局が業者と契約について協議し、打ち切りが決定しました。

ちなみにこのサービス業者について調査したところ、総務省の事務次官を始めとする国家公務員の天下り先となっており、料金設定の不明朗さや、購入を打ち切ろうとすると官僚OBから圧力がかかるなど、「ぼったくりバー」さながらの営業を行っていることが明らかとなりました。



———— * ———— * ———— * ———— * ———— * ———— * ———— * ———— * ———— * ————

これらの例を扱って感じるのは、数百万円、数千万円という単位の税金のムダがまだまだありそうだ、ということです。

この経済環境が厳しい中、個人や企業が数百万円、数千万円を稼ぐのにどれだけ苦労することでしょうか。

ムダ一掃の試みは、具体的な話から少しずつ進めていかななくてはならない困難な作業ですが、今後も続きます。

【ご意見・ご感想をお待ちしています】

酒井郁郎(さかい いくろう)

〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田 1-18-1(議会事務局内)

TEL/FAX:048-432-9168

E メール: ikuro.sakai@gmail.com

チラシ内容の詳細は

こちらです

↓↓↓

酒井郁郎ウェブページ

http://sakai.sub.jp/